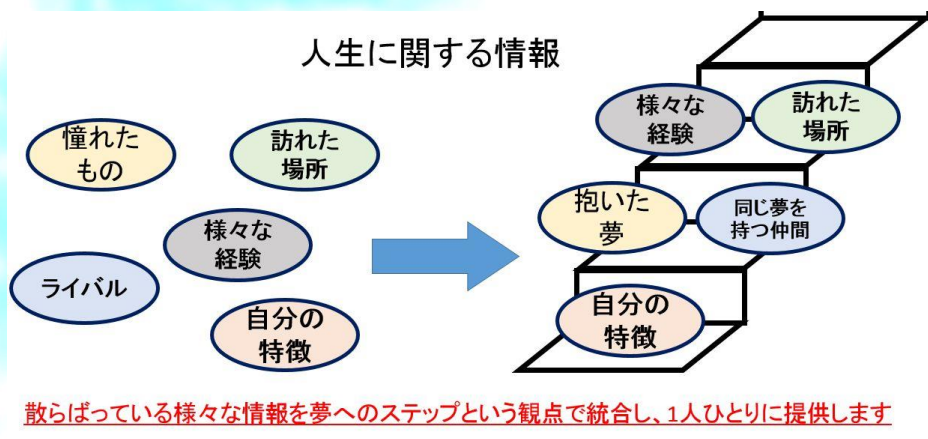


夢を実現する時間を共有するソフトウェア ”ClouDream”

チーム名:ネタバレ劇団
エントリー番号:25

要旨

インターネットが普及して、世の中にはたくさんのコミュニケーションツールが普及しました。SNS やブログのように、自分の人生をライフログとして書き綴り、他の人と共有する仕組みも生まれています。しかし、それら1つ1つの投稿はあくまで「瞬間」を捉えたものです。人生を1本の大きな軸で考えて、数々の情報をまとめて「時間」として捉える仕組みができれば、「単なる共有」を超えて、「互いに刺激しあう共有」になるかもしれません。“ClouDream”（クラウドリーム）は人生を「夢」という大きな軸で考えて、人物に関する多くの時間を統合するソフトウェアです。



第1章 はじめに

今、世界には 70 億人もの人々がいます。全ての人に、それぞれの人生があります。大人たちには、夢をかなえた人も、夢破れた人もいます。

夢をかなえた人には、自分のように努力すれば夢はかなえられると、伝えたい志があるでしょう。

夢破れた人には、自分のような努力では夢はかなえられないと、伝えたい後悔があるでしょう。

1 人ひとりが「夢」に思いを馳せた時間の中で・・・あなただけが経験したことや悔しさなどの感情、その全てを”ClouDream”に託し、次の世代へ伝えませんか？

あなたが託した時間が、きっとどこかで誰かの背中を押し、新たな一歩に繋がっていくのです。

第2章 夢への壁

「夢は必ず叶う」という言葉を私たちはよく耳にします。しかし、この言葉はある意味最も冷たい言葉かもしれません。夢をかなえるためにはさまざまな要素が必要です。夢を持つようになったきっかけ、初めの一步を踏み出せる環境、周囲の協力、緻密な計画や、折れない固い意志、その人自身の才能など、さまざまな要素が上手く絡み合った結果として、夢は叶ったのではないのでしょうか。

「夢は必ず叶う」といわれても、そもそも夢を抱くようなきっかけがなければ、叶うことはないでしょう。「夢は必ず叶う」といわれても、具体的に何をしたら夢に近づけるのかわからなければ、叶うことはないでしょう。

第3章 夢に向かった時間を共有するアプリ”ClouDream”

私たちはこういった考えから

- 夢を持っていない人には、夢を持つようになるきっかけを
- 夢を持っている人には、初めの一步を踏み出すきっかけを

届けられるサービスを作りたいと考えました。

私たちが提案する”ClouDream”では「みんなが夢に向かった時間」を集めて、その中から一人ひとりにピッタリの情報を提供します。

“ClouDream”には、「クラウドサービス(Cloud)で扱うみんなの夢(Dream)」という意味と、「食らうドリーム」、つまり「夢を食べてみよう(=食わず嫌いせず、夢へと踏み出してみよう)」という2つの意味が込められています。



3.1 “ClouDream”に集める情報

ClouDream では、「夢に向かって何か行動した経験がある全ての人」を対象として、夢に向かった時間を集めます。その人の夢が結果として叶ったかは重要ではありません。一人ひとりこの世に1つだけの「時間」を過ごしてきたのに、夢を叶えた人の「時間」だけが語り継がれてはもったいないと考えました。



そして、具体的には次のような情報を統合します。

1. どんな夢に向かって行動したのか
2. どれくらいの時間(何歳のときから)、その夢を目指していたのか
3. なぜその夢を志したのか。そのきっかけ
4. 夢に向かって行動する時間の中で体験したこと(訪れた場所・出会った人々)
5. 今までの人生の各年代において、どのようなことに時間を使ってきたか
6. その夢が叶えられた or 叶えられなかった、もっとも大きな要因

これらの情報のうちいくつかの情報のみでも提供してもらえれば OK です。

プライバシーに関しては、どの程度他の人たちに公開するかを細かく設定できます。有名人が実名で登録するとすればプライバシー設定は必要ないかもしれませんが、”ClouDream”では、一般の方々から、できる限り多くの生きたデータを集めるために、このような工夫をしています。

3.2 夢を持っていない人たちへのきっかけ

夢を持っていない人への「きっかけ」として私たちは以下のアプローチを考えました。

1. 1つ目は「時間の使い方」です。

夢を持っていない人が、1日の中で自分がどんなことに時間を使っているのかを入力します。すると、”ClouDream”に集められた、人々が「人生の各年代において、どのようなことに時間を使ってきた人なのか」という情報から、同じ年代のときに、同じような時間の使い方をしてきた人を抽出し、どんな夢に向かって努力したのかといった情報を提供します。

なぜ、趣味や特技といった基本的な情報ではなく、「時間の使い方」を利用するのでしょうか。それは時間を利用したほうがより「生きた情報」が得られるからです。例えば趣味が「読書」の人でも、1日必ず1時間は本を読む人や、1週間に1冊読む人など、その趣味に対する「時間の使い方」は様々でしょう。



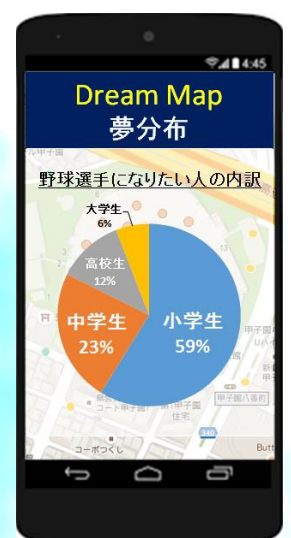
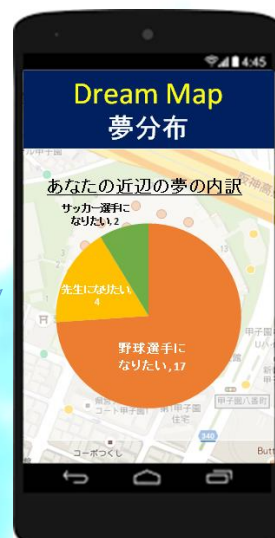
時間の使い方を入力する画面

2. 2つ目は「今、自分がいる場所周辺にいる人たちがどのような夢を持っているのか」を表示できる機能です。例えば甲子園でプロ野球観戦をしている合間に、同じ時間を過ごしている球場の観戦客はどんな夢を持っているのだろう・・・と検索できれば夢を持っていない人でも新しい発見があるかもしれません。



位置情報取得機能を使って近隣の ClouDream 使用者を一覧表示。位置は大まかに表示します。

夢の種類別・年代別に分けて円グラフ表示。こんなに夢を持った人が同じ試合を観ているという事実に刺激されるでしょう。



3. 3つ目は「きっかけとなる実体験の紹介」です。

ユーザーが登録したプロフィール情報の中から、自分と「同じ町に住んでいた」「同じ学校に通っていた」「同じ趣味が複数ある」といった条件を満たす先人の情報を取り出して、夢を持つきっかけとなった実体験を提供します。例えば大学生なら、留学やインターンシップなど、その後の人生に大きな影響を与えるイベントがあるでしょう。そこで、その大学で実施されるイベントと、その参加者がどのような夢を持ったかについて知ることができます。過去に夢に向かった人と同じ時間を過ごすことができれば、立派なきっかけといえるでしょう。

3.3 夢を持っている人へのきっかけ

既に夢は抱いているけれど、何から始めていいかわからないなら、“ClouDream”に託された多くの情報に対して、自分の夢で検索すればいいだけです。

その夢を目指した人の中で、自分に近い時間の使い方をしている人を探したり、その人が訪れた場所を調べたりして、同じ夢を目指していた人と同じ時間を過ごすことができれば、立派な初めの一歩といえるでしょう。自分が夢に向かう時間の中に、過去に誰かが夢を目指したのと同じ時間を共有することで、より夢に近づけて、夢に向かうエネルギーを得るのではないのでしょうか。

第4章 そもそも夢とは

“ClouDream”では、仕事での夢(以下、“仕事 Dream”)も、プライベートでの夢(以下、“プライベート Dream”)も、両方サポートします。

“仕事 Dream”は、

- ✦ その職業に就くこと自体が夢(例:「プロ野球選手になりたい!」)
- ✦ 大きな夢があって、それを叶える手段としてその職業に就く(例:「女性がより働きやすい社会にするために、公務員になる」)

という2つのケースに大別できます。「その職業を通して叶えたかった夢」の入力を可能にすることで、職業に就いた後の時間を含めた、より多種多様な「夢に向かった時間」の表現ができます。

“仕事 Dream”の場合、検索結果として「就きたかった職業」と「その職業を通して叶えたかった夢」の両方を表示できます。これにより、「女性がより働きやすい社会にしたい」という夢で検索すると、公務員だけでなく、政治家や、女性の活動を支援するサービスを開発するエンジニアといった、思いもよらないアプローチを発見できるでしょう。



関連する職業と職業の特徴を表すタグをネットワーク状に表示して、様々な夢のあり方に気付くきっかけを提供します。時間の使い方が似ている人を重ねて表示することもできます。

難民問題を解決するためにどのような職業に就くのか? 何をするのか?という形でも検索可能です。



職業検索で職業の類似度を測定するために、

- 右の画面イメージに示すように、夢の投稿時にタグを夢の種類とともに入力して頂く(プロ野球選手なら #球技、システムエンジニアなら #パソコン など)
- 本アプリのユーザーによって連続して検索された職業の組をビッグデータとして収集し、分析する(通販サイトで見かける「この商品を見た人はこちらの商品も見ています」のように)
- 本アプリのユーザーが抱いている夢と、これまでの人生における時間の使い方との関連性と傾向を分析する

といった手段を用います。ユーザーの行動やプロフィールをビッグデータとして解析することで多様な職業に対応することができます。



夢を投稿するときの画面

ユーザーの行動をビッグデータ解析することで、他にも以下のような活用が見込めます。

- 職業検索で結果が表示された後、関連する職業をたどらずに全く別の職業を調べれば、今抱いている夢に対して迷いが有る(もしくは無い)といった傾向を分析し、次の行動のレコメンドをする。
- 夢を抱いていないユーザーが、ClouDream のどの機能を使用したタイミングで夢を抱いたのかを収集して、どんな人にどの機能が向いているのかを分析する。

”プライベート Dream”の例として、「世界一周旅行したい」「禁煙したい」などが挙げられます。

”プライベート Dream”の実現へ向かっている人について知ることで、”仕事 Dream”を持っている人には、夢を叶えてその仕事に就いたあと、プライベートでどんなことをしようかというイメージができて、本来の夢へのモチベーションアップに繋がるかもしれません。全く夢を持っていない人でも、”プライベート Dream”について投稿している人を見ることで、人生の方針に何か刺激を受けられるでしょう。

こちらにも右に示すようにネットワーク状に関連する夢を表示して、様々な夢の選択肢を示すことができます。



第5章 発信

自分の夢に向かっている進み具合をアカウントのページで発信できます。右の画面イメージのように、進み具合を登山に例えて何合目に達しているかといった表示をします。

また、参考にした夢に関する記事には「ありがとう！」ボタンを押すことで書いた人にお礼の気持ちを伝えることができます。記事を書いた人にチャット形式でメッセージを送って詳しい質問をすることもできます。また、同じ夢を目指している人の進み具合を見ることができます。

インターネットを使えば、夢を叶えた人との「時を超えた」つながりも、同じ夢を志す人々と「時を共に過ごす」つながりも実現できます。



第6章 ビジネスモデル

“ClouDream”のビジネスモデルは主に広告モデルを利用します。しかし、単に広告を表示するのではなく、ユーザーの夢やその進み具合を考慮して広告を表示することができるので、より効果的で、ユーザーにとっても夢の実現により近づく機会となる広告が実現できます。ユーザーが訪れた場所や夢を抱いたきっかけなどの大量の情報から、「この製品は〇〇の夢を抱いている人の65%が使用しています」「この場所は〇名の人が夢を持つきっかけになったと投稿しています」といった広告の宣伝文が作成できます。

「ありがとう！」ボタンを押されたユーザーには広告で得た収益から賞金を提供することができます。夢に向かって頑張った経験のある人は、「その経験を話したい」「自分の中で気持ちの整理をしたい」「後輩の力になりたい」といった想いで投稿するとともに、賞金に対するモチベーションも加わることで、より質の高い投稿をしてもらうことができます。

第7章 時を〇〇しているポイント

- ✦ “ClouDream”は夢に向かって頑張った経験のある人が、その時間を共有するソフトウェアです。
- ✦ 単に「どんな夢だったか」だけではなく、夢を追い求めていた「時間」として多くの人から情報を集めることで、これから夢を抱く人たちにより多く、実践的で、具体的な生きた情報を提供できます。
- ✦ 夢を抱いてない人が新しいことに興味を持つきっかけとして「時間の使い方」の共通点を発見する手法を採用します。
- ✦ 「その職業を通して叶えたかった夢」の入力を可能にすることで、職業に就いた後の時間を含めた、より多種多様な「夢に向かった時間」の表現ができます
- ✦ 身の回りにロールモデルが少ない環境でも、インターネットを使うことで夢を叶えた人との「時を超えた」つながりも、同じ夢を志す人々と「時を共に過ごす」つながりも実現できます

最終章 私たちが目指す世界

幼稚園や小学校に通っていたころ、「将来の夢」というテーマで作文を書いた人は多いでしょう。しかし、そのように堂々と自分の夢を語る機会は、年を重ねるにつれて減っていきませんでしたか？夢を持つきっかけはもちろん、その夢を自信を持って追いつけていける環境が無ければ、いずれ自分の可能性を狭める意味で「今を見る」大人になってしまうでしょう。

”ClouDream”には多くの人々が夢を目指した「時間」があります。今も夢を目指し続けている人々の「時間」があります。物理的な距離に関係なく人と人が繋がれるインターネット社会で、1人でも多くの人がこのコミュニティに参加し、夢に向かうためのステップとして「今を見る」大人へと成長していく世界を目指しています。